

安全教育便り②

SNS やオンラインゲームにおける安全

いつも本校児童の安全を地域・ご家庭で見守っていただき、ありがとうございます。



6月に3～6年生を対象としたセーフティー教室を行いました。テーマは「SNS やオンラインゲームにおける安全」でした。講師は、本市、教育センター情報教育支援員の渡邊様です。

SNS で起こる問題や実際にを行った事件等を知り、子供たちの問題意識も高まったことと思います。ご参会いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

スマートフォンやオンラインゲームによる友達同士のトラブルは、本校でも毎年のように起こっています。私たち大人は買い与えるだけでなく、子供たちが安全に利用することができるよう見守る責任があります。子供たち(3年生以上)と保護者の皆様を対象に調査したところ、スマートフォンやオンラインゲーム機を所持している子の**ほぼ全員がおうちの方とルールを決めている**とのことでした。いつも見守りをありがとうございます。

所持率

どのくらいの子がスマートフォンやオンラインゲーム機(インターネットと繋がる)を持っているのか、保護者の皆様も気になるところかと思います。アンケート調査の結果は次のとおりです。

1年生	50%
2年生	59%
3年生	72%
4年生	74%
5年生	75%
6年生	85%



おうちでのルール

スマートフォンやオンラインゲーム機を持っている子がおうちの方としている約束は、多い順に次のとおりです。

- ①知らない人と連絡を取り合わない。
- ②使ってもよい時間を限定する。
- ③使わないときの保管場所を決める。
- ④見守りフィルターなど、制限がある。
- ⑤使ってもよい場所を限定する。

これから夏休みに入ります。この機会に、ご家庭で「ルールやマナー」の再確認、見直しをお願い致します。

マチコミメールで実施しました「安全教育アンケート」へのご協力、ありがとうございました。